DP（ディプロマポリシー）アンケートにみる大学授業の省察
～『教職基礎論』を中心として～

学校教育講座（教育学）　白松　賢

１.『教職基礎論』と DP への対応

授業の到達目標は次の３つである。①教職の意義と教員の役割, 教員の身分･資格, 職務内容，学校の現状と改革動向，社会が求める教師像について確かな知識と理解をもち、分かりやすく説明できる。②教員生活の現状を知り，それを自身の進路選択の参考とすることができる。③教師としての成長という観点から，今後の学修をロードマップとして構成することができる。この到達目標は、DP1A と DP5A に主として対応している。

２．シラバス

第１回　イントロダクション
第２回　教育問題と教育幻想(1)
第３回　教育問題と教育幻想(2)
第４回　個性の誤謬
第５回　教育の誕生と多様化
第６回　子どもの権利と教師の義務
第７回　教授か？発達か？
第８回　教職の世界を理解する(1)
第９回　教職の世界を理解する(2)
第 10 回　ライフヒストリー分析と自己教育育課題　－授業・生徒指導観の発達－
第 11 回　若手教員の考える教育と適正
第 12 回　教育の目的と機能
第 13 回　教育改革の動向(1)
第 14 回　教育改革の動向(2)
第 15 回　テスト
第 16 回　まとめ

３．授業上の工夫

第１回から第４回までは、グループディスカッション及びワークショップを活用し、大学入学間もない学生が１時間 30 分の講義セッションになれるための工夫を行っている。第５回から第 9 回は、学校・教育・教師の歴史的展開をもとに、教育の多様化と標準化の間で揺れ動く教育の世界を理解させるために、わかりやすい PP 資料を作成した。第 10 回第 11 回には実地指導講師を招き、現実の教職生活を理解してもらう工夫を行った。なお、授業の２／３は、教員採用試験に出題される内容で構成しており、この内容構成から教員志願率を高める工夫を行っている。

４．DP 対応分析から

本年調査は、受講 141 名に対して 129 名の回答があり、91.5%の回答率であった。

このアンケートの分析結果の図１は、DP への対応に対して「そう思う」「ある程度そう思う」の回答割合を図示したものである。95%を上回った項目は、DP1AB･2AB･4A･5A となり、本講義でめざしている DP１A については 100.0%であり、５A についても 95.3%が回答していることから、目的は十二分に達成していると判断される。DP2AB が高い回答率となっているのは、教育問題として「学級崩壊」「いじめ」「少年非行・犯罪」を事例で取り上げていることに起因していると考えられる。その解決方法について、学校現場での対処療法的な内容を教

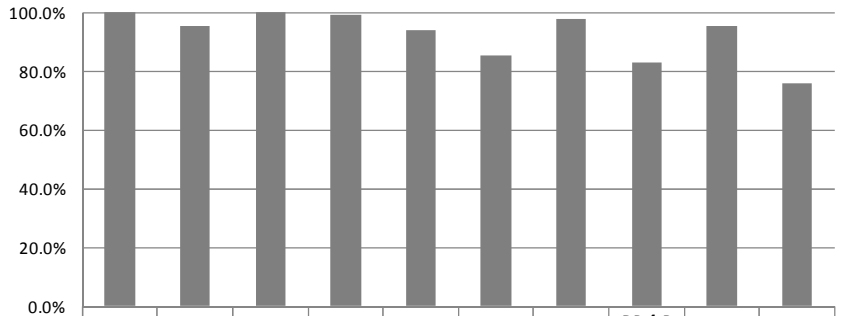
えずに、むしろマクロな言説レベルからの距離の取り方を強調していることがかえって学生に理解しやすい内容となっている可能性が示される。授業では全く対象にしていない DP3AB についても、高い回答割合となっているのは、おそらく授業内容で、ワークショップや実践的な学習内容、ディスカッションを入れているためと考えられる。

図２の特に「対応している」DP の項目は、DP１AB と DP5A が高い回答であり、本講義の目的通りに学生の意識が表れていることが明らかになった。

５．今後の向上方策

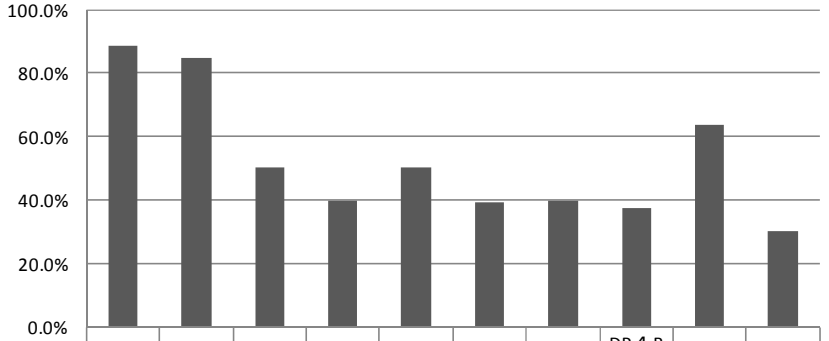
本年度の調査から、『教職基礎論』の授業には、目標を超えて教員養成に関する多様な学習意欲の向上を達成していることが明らかになった。しかしながら、図２の分析からより詳細に検討すると、DP5A の「専門的職業人としての使命感や責任感の形成」をより向上させる必要がある。本来は地域連携実習などの子どもとの関わりを通じて向上すべきかもしれないが、実際の子どもたちの様子や学校で苦しみを抱えた子どもたちの事例を構成し、さらに、この項目の回答割合を向上させたい。

図１ 教職基礎論DP対応（「とてもそう思う」+「ある程度そう思う」）



	DP1A：教育に関する知識の修得	DP1B：得意分野の専門的知識の修得	DP2A：教育をめぐる現代的諸課題の理解	DP2B：それへの適切な対応策の在り方. . .	DP3A：教育活動に必要な高い技能の修得	DP３B：教育活動に必要な豊かな表現力の修得	DP4A：自己の学習課題の明確化	DP４B：理論と実践を結びつけた主体的な学習への意欲	DP5A：専門的職業人としての使命感や責任感の形成	DP5B：多世代にわたる対人関係力の育成
■対応している	100.0%	95.1%	100.0%	99.2%	93.6%	85.3%	97.6%	82.8%	95.3%	76.0%

図2　特に「対応している」DP項目



	DP1A：教育に関する知識の修得	DP1B：得意分野の専門的知識の修得	DP2A：教育をめぐる現代的諸課題の理解	DP2B：それへの適切な対応策の在り方. . .	DP3A：教育活動に必要な高い技能の修得	DP３B：教育活動に必要な豊かな表現力の修得	DP4A：自己の学習課題の明確化	DP４B：理論と実践を結びつけた主体的な学習への意欲	DP5A：専門的職業人としての使命感や責任感の形成	DP5B：多世代にわたる対人関係力の育成
■対応している	88.4%	84.6%	50.4%	39.8%	50.4%	39.5%	39.8%	37.5%	63.6%	30.2%